

暮らしの瓦版

2020
8月号



2020年の夏がくる

気温は平年並みも、梅雨明け後は熱中症に注意

雨明けが遅れた分、降水量は多くなると言われています。例年、梅雨が明けて夏空となる7月下旬も雨が降りやすくなるため、西日本、東日本は平年並みか多い見込みです。また、梅雨が明けた後はゲリラ豪雨が発生しやすく、梅雨末期の大雨に加えて、局地的な急な雨への備えをしましょう。

2020年7月～9月のゲリラ豪雨は、全国でおおよそ2,400回発生する予想です。

東京で90回、愛知で60回、大阪で90回ほどの予報がすでに出ているのです！

今シーズンのゲリラ豪雨は、8月上旬をピークに集中して発生する見込みです。時期別の気象条件をみていくと、これから8月末にかけて晴れる日が多くなる予想です。天気の良い時に洗濯、掃除、家の安全の為の備えをすると良いですね。

8月上旬はゲリラ豪雨の発生ピークとなるため、天気の急変に特に注意が必要です。洗濯物、お布団の干しっぱなしは要注意なのかもしれません！

9月上旬からは晴れる日があるものの、度々台風の影響を受けるなど、ゲリラ豪雨の発生は減少します。9月中旬は移動性の高気圧や前線の影響を交互に受け、季節の歩みを感じるとともに、ゲリラ豪雨のシーズンも終息に向かう見通しです。

今年は、もしかしたら秋が来るのが早いかもしれませんね。

2020年の夏は、例年以上に熱中症対策が必要！

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ為、屋内での活動が増えるほか、外出時はマスクの着用が必要となる場面が増えるでしょう。実は、例年以上に熱中症対策が必要なのです。その根拠となるポイントを3つに絞ってみました。

POINT

1. 自粛生活長期化により、暑さに身体が慣れていない。
2. 昨年の熱中症発生場所No.1は、住居内で起きていた。
3. 外出時のマスク着用では、水分補給を忘れがちになる。

今年は外出を控えている人が多い為、夏本番を迎えた時に身体が最高気温30℃以上の真夏日に耐えられない、という事が考えられるそうです。「家にいることが多いから熱中症は関係ない」のでしょうか？ その答えは、いいえ。

実は、昨年の熱中症発生場所第1位は住居！なんと2万7500人もの方が、リビングや自宅の庭などで熱中症を発症しているのです。

熱中症で搬送される半数以上が高齢者です。日頃から気温と湿度を“見える化”させておくことが重要です。

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルスに感染しないようにする、感染させない！

※対面で人と人との距離が近い接触(互いに手を伸ばしたら届く距離でおおよそ2mとされています)が、一定時間以上、多くの人々との間で交わされる環境は、感染しやすいのです。手洗い、咳エチケットを徹底しましょう！

もしも不安を感じたりしたときは、埼玉県のサポートセンターまでお問合せ下さい。

※ 埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター
0570-783-770 受付時間:24時間(土日・祝日も実施)

当社もコロナウイルス対策を徹底し、建物を守ります。

北本建設からお知らせ

北本建設は建物の事ならいつでも助けに伺います！ご連絡下さい！ 台風による建物の損壊が雨漏りにつながる…

台風が接近し風速20m/sを超える強風で、建物の窓ガラス、瓦、雨樋、棟板金などの破損し雨漏りが発生する可能性が高まります。雨漏りといえば屋根からしたたり落ちるイメージが強いです。しかし、台風の時期は横なぐりの強烈な雨が外壁の隙間、窓のサッシといった部分から家に入り込む事が多いのです。

台風時には想像しないような形で雨漏りが発生する事もあるので、事前の点検が大切です！今年の台風の被害による雨漏りリスクを少しでも減らすためにも、天気の良い日に点検を済ませてみて下さい。



点検にも同行いたします、ご相談下さい一緒に安心な建物に致しませんか？

〒364-0003 北本市古市場三丁目131番地
北本建設株式会社 ☎ 048-591-1234

担当者 太田まで

※耳寄り情報を求めています。
喜んでお伺いいたします。